

# 平成13年におけるサンマの漁場形成

福島県水産試験場海洋漁業部

平成13年度事業報告書

## 1 部門名

水産業－海洋生産－サンマ  
分類コード 19-01-31000000

## 2 担当者

水野拓治

## 3 要旨

本県サンマ標本漁船5隻(総トン数166～153トン)の操業状況の記録等を用い、平成13年におけるサンマの漁場形成等を整理した。

- (1) 平成13年における全国のサンマ漁獲量(棒受網)は26万トンで、過去3年間の低い水準に比べて高い値となった。
- (2) 棒受網大型船(40トン以上)の漁場は、漁期当初は、過去3カ年と同様に千島列島沿いに形成された。漁期の進行に伴う漁場の南下は遅く、9月、10月は道東及び襟裳岬南海域に、3月には三陸沖に漁場が形成され終漁した。10月中下旬には、短期間ではあったが常磐北部海域にも漁場が形成された。
- (3) 平成13年の本県サンマ漁船の操業は、8月20日～11月27日の期間にかけて行われたが、標本船の操業実態及び参考として近年(平成10～12年)の実績は以下のとおりであった。

項目	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
1隻当たり平均航海数	34.6回	37.2回	27.4回	39.0回
1航海当たり平均出漁日数	2.8日	3.1日	3.9日	3.2日
1航海当たり平均操業回数	16.4回	15.3回	17.5回	15.6回
1隻当たり平均漁獲量	1,654トン	1,098トン	701トン	907トン
1航海当たり平均漁獲量	47.8トン	29.5トン	25.5トン	23.3トン

## 4 その他の資料等

なし